合「∼の一部」、無地番の場合は「○番地先」と記載

説 明 設 書 (1) 概 開発区域のすべての地番表示(一筆の一部がある場

市街化区域 域 市街化調整区域

(注) 該当する区域に印(✔) をつけて下さい。

1		開発区域に含ま 八王子市●●字▲号1234番、1 れる地域の名称 235番の一部、1235番地先							042-000-000	3 段 計 有	八王子市△△町2番2 株式会社▲▲ ▲▲ TEL04	2号 ▲▲ 2-○○○-○○○			
4	\mathcal{O}	全建多 用	涂	専用住宅	L	5			.25m)を設け、市道●号線に接続します。宅地内汚水は公共下 FF水は浸透トレンチで処理します。 (3)						
6	登記事項証明書及び実則値と整合していること 地 域 用 蒁 地 奥 産へい率/容積率			運べい率/容積率制	高き制限	都市計画施設	風 致 地 区	旧緑地地域							
開発区	地	区等	有無	第1種低層)	建 40 % 容 80 %	10m11b	有(無)	有 (種)	有()						
発区域内の土地	地目	— пл	区	分	総数	宝 地	農地	山 林	雑 種 地	道路	水路				
		日万川	台	帳 面 積	** *. ** n	$\mathring{1}$ $\blacktriangle \blacktriangle . \blacktriangle m^2$	登記簿上の面	漬(土地の一部でも筆全部	の面積を記入) m²	m²	m²	m²			
\mathcal{O}	概		実	面積	** *. ** n	2	実測面積(全体)	減	m²	m²	m²	m²			
現況		要	測	割合	100 %	100%	%	%	%	%	%	%			
7	開発行為の妨げとなる建築物等					なし 区分の名	なし 区分の名称は計画内容に合わせて適宜記入								
1+	開	発	区	分	総数	住宅用地	道路用地	広場・公園・緑地用地	清掃施設(ごみ置き場)	後 退 道 路	未 利 用 地				
土地利		76	面	積	** **. ** *n	i	■■. ■■m²	$\bigcirc\bigcirc$. $\bigcirc\bigcirc$ m ²	\triangle . $\triangle \triangle$ m ²	\triangle . $\triangle \triangle$ m ²	\triangle . $\triangle \triangle$ m ²	m²			
用計	区:	域内	割		100%		15%	10%	2%	2%	1%	%			
画	積上げ求積とし、端数は切り捨てる 開発区域外 (取付追路)					5	m²								
(<u>2</u>)	工	区	;	番号	総数	工区	工区	工区	工区						
	工	区	総	数	▲▲▲. ▲▲n		m ² ある場合は記入	m²	m²						
工区	面	·	住	宅 用 地	●●. ●●n			m ²	m²						
0)		積	非(主宅用地	□□. □□n	i m²	m²	m²	m²						
設定	住宅の敷地数 ●図画						区画	区画	区画						
計	一宅地の平均面積 ○○○.○○㎡/区画			m²/区画	m²/区画	m²/区画	m²/区画								
画	予定建築物の用途等専用住宅														

9	(4)	(4) 種 類		概 要					<i>55</i> 5: 1"III	- 1 √.		454-	
	(4)	種類類	番号	幅員・寸法	延長	面積	構造	Ī	管 理	者	用地の帰属	摘	要
公	新	 道路 	①-1 ②-2	5. 00m 5. 50m	○. ○○m ○. ○○m	\triangle . \triangle \triangle \triangle \triangle \triangle \triangle			八王子市 事業者		八王子市 事業者		市有存置
共	設			5. 50m		<u> </u>			于术日		于大日		
施	及	②排水施設(汚水)		vuφ200、L=C)O. OOm				八王子市		_	下	水道法第 16 条
設	び												
	付	「別紙による」とし、 協議事項の表部分を 添付してもよい											
0	け	MIJOCOLVI											
整	替												
備	え				I								
計	廃												
計													
画	d.												
/ ->	止												
(5) 10	そ	の他の施	設										
	。 2 計4 1 の分本事項												

◎ 記載上の注意事項

- (1) 「自己の居住又は業務の用を目的とした開発行為」について、既存の権利を有することを届け出るために、設計概要書として使用するときには、表題の"説明"を二重線で消去し、その他の場合には"概要"を消去してください。なお、設計概要書として使用するときには、5、7、8欄に、記入する必要はありません。
- (2) 開発区域を工区に分けるときは、開発区域全域の総括設計説明書のほかに、各工区ごとの内訳を示す設計説明書を添付してください。
- (3) 5欄には、開発行為の目的(例えば、宅地分譲、建売住宅付分譲、マンション建設、工場用分譲等)及び設計の基本方針、即ち開発区域内の計画上、特に配慮した事項(住区、街区の構成、公益的施の整備方針、周辺との関連等)について、なるべく詳しく記入してください。
- (4) 9欄の公共施設の種類とは、道路、下水道、公園、広場、緑地、河川、運河、水路及び消防の用に供する貯水施設をいいます。
- (5) 10 欄は、上水道、ガス、し尿処理施設を設置する場合は、その概要を記入し、また教育施設(学校、幼稚園等)、購買施設(商店、マーケット等)、医療施設(病院、診療所等)の公益施設を設置するときは、その規模、内容等について、なるべく詳しく記入してください。
- (6) この用紙の記入欄に書ききれないときは、適当に用紙を継ぎ足すか、又は別紙に書いて添付してください。